

アクションプランの実施状況 メカトロニクス・ロボット実践技術

タイトル：カリキュラムの内容およびその他の改善

氏名：HANYURWIMFURA Gerard

国名：ルワンダ

団体：IPRC- SOUTH（統合ポリテクニク地域センター）

研修コース：メカトロニクスおよびロボットの実用技術

初めに

日本で提出したアクションプランの中に書いてある通り、統合ポリテクニク地域センターの管理委員会から委託を受けることになっている仲間たち数名と協力し、アクションプランを実施するために私は全力を尽くしている。

計画しているのは、統合ポリテクニク地域センターの電気・電子工学部で今まで使われていた現行のカリキュラムの内容を改善していくことだ。JICA 九州および KITA による指導とサポートのもと、多岐にわたる産業視察および学校見学が含まれた、メカトロニクスおよびロボットの実用技術に関する研修を受けながら日本で過ごし 3 カ月が経ったとき、私はこのアイデアを思いついた。

実施状況

私が日本から帰国する前に計画した実施スケジュールを見てほしい；スケジュールにある通り、2014 年 8 月、つまり今月中に終わらせなければいけない活動が 2 つある。

- 電気・電子工学部の現行のカリキュラムの内容についての調査および改定はすでに済んでいる。
- 自身の提案書を、当センターの経営会議に提出した。

上記の提案書を当センターに提出したあと、現行カリキュラムのモジュールの学習内容に何を追加、改善、あるいは削除できるかについての意見を求めるために、訪問することができる工場を沢山リストアップしている。それらの工場には他の統合ポリテクニク地域センターを卒業した人たち、およびその卒業生たちと共に働いている人たちがいるので、ルワンダ国内で稼働している工場から得られる提案は私たちにとって有益なものとなるだろうと期待している。それにより、彼らがまだ生徒だったころの授業の教え方に関連する主な問題点について知ることができるだろう。

現行のカリキュラムの改善のほかにも、私たちの目標達成のために非常に大切な提案を、当センターの経営陣に対していくつか行った。

終わりに

上記パラグラフ、および私が日本にいたときに提出したアクションプランにもあるように、私は今もアクションプランの実施に取り組んでおり、計画しているそれぞれの活動が何の問題もなく実行されるなら、2014 年 12 月に完遂となる予定である。